

日本語教師養成サブコース履修者へのアンケート調査（2021年4月～4月28日（水））結果

1. 回答者

回答者数：5名（対象者10名）

回答率：50%

回答者の内訳：

①コース：言語コミュニケーション（5名）

②属性：留学生（5名）

2. 質問紙の構成

履修前、履修中、履修後の3つのカテゴリーに分け、それぞれ大問4～5問、計14問（小問含め19問）から構成

3. 結果

3-1. 履修前

履修前1. 大学院での専攻について、次の①と②にお答えください。

① 大学院での専攻（コース）は何ですか（選択）

1. 回答者の内訳参照

② 大学院でのあなたの専攻（研究テーマ）は、日本語教育と関係するものだと思いますか。関係すると思う場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」と答えてください（選択）

はい	5
いいえ	0

履修前2. 日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育に関してどのような経験がありましたか。（複数選択可）

項目	A 日本語教授	B 言語教授	C 日本語教育に関する学習	D 言語教育に関する学習	E 日本国内交流	F 海外交流	G 日本語学習	H 日本語学学習	I 特になし	J その他
回答数	3	3	3		3	2	4	3		

履修前 3. 上記の2で、A・Cを選択しなかった人にお聞きします。日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育についてどのようなイメージ・考えを持っていましたか。自由に記述してください。

日本語の文法語彙などの知識を学生に教えて、日本語を使えるようにさせること	日本語の語彙、文法などをどのように日本語学習者に教えることを学ぶ学問だと思っていました。
--------------------------------------	--

※A・Cを選んだ1名が回答、A・Cを選んでいない1名が未回答。

履修前 4. 日本語教師養成サブコースのことをどのようにして知りましたか（複数選択可）

項目	A オープンキャンパス	B ホームページ	C パンフレット	D 新入生ガイダンス	E 先輩や友人	F 研究科教員	G 研究科職員	H その他
回答数	1			4	2	3		

履修前 5. 日本語教師養成サブコースを履修しようと思った理由は何ですか。自由に記述してください。

日本語の教師になるためです。また実習もしたいと思います	専門は日本語教育です。将来日本語教師として働きたいです。	日本語先生を将来の選択肢の中の一つとしたいためです。	日本語教育関連の仕事を応募する時の1つの有利な履歴だと思っていました。	日本語教師になるためには、ある程度の知識や能力が必要です。その知識や能力を身に付けるた
-----------------------------	------------------------------	----------------------------	-------------------------------------	---

				め、履修しました。
--	--	--	--	-----------

3-2. 履修中

履修中 1. 日本語教師養成サブコースの科目の履修方法を理解するのは、難しかったですか（選択）

【例】 A-Dの領域別科目の選択や対象科目の選択など

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数		1	1	3	

履修中 2. 自分の専攻に関する学習（研究）と日本語教師養成サブコース履修科目に関する学習の両立は難しかったですか。次の①～③についてお答えください。（選択）

- ① 時間割の編成上、授業を取ることが難しかった
- ② サブコース履修科目の内容が専門外のため、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった
- ③ サブコース履修科目の課題が多く、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった

選択肢		とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	①				4	1
	②				3	2
	③				4	1

履修中 3. 日本語教師養成サブコースの科目として履修した授業の内容や学習が、自分の専攻に関する学習（研究）や進路などに何か影響を
しましたか。「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください。

はい	2
いいえ	3

「はい」の理由

日本語教師に役立ちました	日本語教師になるために、博士後期課程に進学しました。
--------------	----------------------------

履修中 4. 日本語教師養成サブコースの科目を履修することで、どのような知識や能力などを身につけることができましたか。該当するもの
をお選びください。（複数選択可）

項目	A 対学 習者コミ ュ能力	B 日本 語・言語 関心	C 日本 語・言語 鋭い感覚	D 国際 感覚・人 間性	E 専門 性・意義・ 情熱	F 言語 知識	G 言語 知識活用 能力	H 日本 語教授知 識	I 日本 語教授 知識活 用能力	J 背景 知識	K 背 景把握・ 分析	L その 他
回答数	2	4	3	1	2	4	3	4	4	1	4	

履修中 5. 日本語教師養成サブコースの科目を履修中、日本語教育について思ったこと、感じたこと、気づいたことなどがありましたら、自
由にお書きください。

実践の内容をもう少し増えれば良いと感じていました。	1.学習者のモチベーションを保つことがとても大事だとおもいました。最初の授業で学習者の興味を引き出しても、学習内容がむずか
---------------------------	---

	<p>しくなったり、自分のニーズに合わなかったりすることで、学習者のモチベーションがだんだん低くなりがちです。そのため、あらかじめ学習者が興味を持っているものを用意して、授業の内容などを工夫したりすることで、学習者のモチベーションを保つことが大事だと思います。2.日本語を教えるには、知識だけでは不十分で、実践経験も大事だと思いました。</p>
--	--

3-3. 履修後

履修後 1. 日本語教師養成サブコースを履修・修了してよかったですか（選択）。その理由を具体的にお書きください。

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	3	2			

その理由

<p>実習の経験と専門知識が役に立つ</p>	<p>言語と日本語教育に関する知識をたくさん勉強しました。実習を通じて、自分の問題点が発見できました。</p>	<p>短い院生の中で充実できました。また、現在の仕事を辞めたい時に、転職の時の選択肢が増えました。</p>	<p>確かに日本語教育に関していろいろ勉強になりました。</p>	<p>日本語教師養成サブコースを修了して、確かにある程度の日本語教師になるための知識や能力などを身につけました。今は中国のある高校で日本語を教えていて、そこから身につけたものを活かし</p>
------------------------	---	---	----------------------------------	---

				て、学習者を教えています。例えば、最初の授業で学習者のニーズ調査をしました。そのニーズに合わせて写真やビデオなどを準備して授業をしました。学生たちの反応はとてもよかったです。
--	--	--	--	---

履修後 2. あなたの現在の状況について、次の①～③にお答えください。(選択)

① どこに住んでいますか

日本	3
日本以外の国	2

② 特定の教育機関（大学院など）において、日本語教育に関連する学習（研究）をしていますか。

はい	3
いいえ	2

③ 日本語教育に関連する仕事（正規・非正規）をしていますか。あるいはそのための準備中ですか。

はい	4
いいえ	1

履修後 3. 上記の③で「いいえ」と答えた人にお聞きします。将来、日本語教師養成サブコースで学んだことを活かしたいですか。※「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください

はい	0
いいえ	1
わからない	0

※該当者 1 名

履修後 4. 日本語教師養成サブコースについて、ご意見がありましたら、自由に記述してください。履修前、履修中、履修後、どの段階でも構いません。

1、日本語教師養成サブコースは留学生にとって役にたつかどうかという疑問を持ちました。日本国内の日本語教育の現状や留学生に対する日本語教育の実践を中心に取組まれて、将来帰国して現場で働く留学生にとってどれくらい結びつくのかと思いました。2、理論知識を中心に教わって、実習の授業が少ないようなような気がします。	教壇実習が少ないと思いました。
---	-----------------